

市長とのかがやきライフトーク

【 多羅城プロジェクト 】

と き ／ 令和元年 10 月 23 日（水） 10：30～11：30

ところ ／ 上石津地域事務所・2-3 会議室

参加者 ／ 10 人

【多羅城プロジェクト】

多良地区は、明智光秀の生誕の地の候補地のひとつとされています。来年の大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を契機として、「多羅城」を起爆剤に、多良のまちづくりを積極的に進めたいとの思いから、3月末にプロジェクトチームを立ち上げました。

また8月には、城ヶ平城跡が16世紀の山城跡として県の遺跡地図及び台帳に登録されたことを受け、城ヶ平を中心としたPRや観光振興策に取り組んでいます。

【多羅城プロジェクト】

多羅城プロジェクトを構成する5部門のリーダーから、それぞれの役割や活動内容等についてお話しいただきたいと思います。



【多羅城プロジェクト】

プロジェクト全体の目標や将来ビジョンを持ち、取りまとめる役割を担っています。

今年度は、ぎふ森林・環境基金事業補助金を活用し、城ヶ平山城跡へのアクセス道路の整備（北側ルート）を行いました。

またPR事業として、市民提案事業委託料や各種補助金を活用し、ポロシャツ・ガイドマップ・缶バッジ・多羅城御膳・日本酒多羅城（三輪酒造）などを作成しています。

将来的には、城ヶ平山城跡を中心に勝地峠から時までの遊歩道を整備したいという夢があります。

【多羅城プロジェクト】

本年度は、市の市民提案事業に採択していただき、山城跡整備をはじめ、ガイドマップ作成などに財政支援いただきましてありがとうございます。

市長は、三輪酒造の先祖が多良地区出身ということはご存知でしたか。

【市長】

もちろんです、「三輪」ですから。やはり名字はルーツを示すものですね。

【多羅城プロジェクト】

環境整備活動には「喜び・楽しさ」と「苦労」があります。

まず、これまで年4回の整備活動には、延べ200人以上のボランティアに参加いただいています。これは、多くの住民の方が、多良地区を何とか盛り上げたいという強い思いを持っているということであり、嬉しい驚きとともに大変ありがたく感じています。

一方で、ヤマビルや雑草の除去には非常に苦労しました。こうした際にも、ボランティア住民の方から、職業柄持っている技術や資機材を無償提供していただき整備できたことに感謝しています。

10月20日（日）の歴史ウォーキングは大変盛況でしたが、その中でも、参加者の方から喜びの声をいただくなど直接のフィードバックがあるので、心が温かくなります。

今後の課題として、来年度は、南側入口の400～500mに砂利敷き等の軽整備を行いたいと考えています。是非、市の財政支援をお願いできればと思います。

【多羅城プロジェクト】

上石津郷土資料館の来館者数推移を見ると、ここ数年は非常に伸びており、大河ドラマを機に、さらに多くの方が上石津地域を訪れることになると思われます。

こうした観光客へのおもてなし事業として新たに発足した観光ボランティアについて、ご紹介をお願いします。

【多羅城プロジェクト】

ボランティアガイドの会である「多良歴史回廊案内の会」を8月に立ち上げ、市民活動団体に登録しました。

【市長】

ふるさと大垣案内の会には入っているのですか。

【多羅城プロジェクト】

会としては別組織になりますが、各々個人で入っている方がいます。

【多羅城プロジェクト】

多良地区には、多くの著名な戦国武将が訪れた足跡が残っており、その中でも、高木家・島津豊久・明智光秀をメインとして、それぞれのゆかりの地を巡る3つのガイドコースを設定しました。

10月20日（日）の歴史ウォーキングが本会のデビューでしたが、まずまずであったというお声をいただき、ほっとしています。歴史案内を通じて、多くの方にこの地域を訪れていただきたいと思います。

ひとつ残念な出来事として、9月28日（土）の、大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会及びNHK岐阜放送局主催の100日前告知イベントに、明智光秀ゆかりの市町が一堂に会しましたが、500人ほど入れる会場に、この地区から我々は5人しか席が確保していただけませんでした。

他の市町からは20～30人、多いところは100人程度が参加していたと思います。せっかくのこのような機会に、多良地区を生誕の地としてPRできるよう、市のバックアップがあるとありがたいと感じました。

【多羅城プロジェクト】

明智光秀生誕の地として、市をあげての取り組みをしていただけるとありがたいですね。11月9日（土）には、スイトピアセンターで歴史講座を開催しますが、こちらもこれまでの講座と異なり、大垣地域での開催となります。これは、多くの大垣地域の方に参加いただき、上石津が明智光秀のゆかりの地であると認識いただきたいという思いからです。

【市長】

県から5人しか枠がもらえないと言われたのでしょうか。

【多羅城プロジェクト】

鈴木会長に各所にあたっていただきましたが5席でした。精一杯PRしてまいりました。

【多羅城プロジェクト】

多羅城プロジェクトに限らず多良地区全体の広報を担当しています。

限られた財源でいかに全国に広報するかが課題です。SNSを活用する中で、特にTwitterは歴史好きの人が多く利用している印象があります。

今回作成したガイドマップは3作目になりますが、デザイン等をできるだけ経費をかけずに自分たちで作成した中で、結構良いものができたと感じています。大垣観光協会等でも活用していただけるよう働きかけを行う予定です。

大河ドラマが終了した後が課題であり、継続的な活動が必要です。

多良の歴史ロマンやこの地区の特異性に焦点をあて、個々のイベントを実施して終わりではなく、皆さんの思いを大切にした取り組みを重ね、それを広報していくことが、多良地区の良さにつながると思います。

メディア等の力も借り、より多くの人に多良に来ていただき、その良さを知ってもらえるよう、市のサポートをお願いします。

【多羅城プロジェクト】

明智光秀を題材に地域全体が頑張ろうという機運が高まっていますね。また、それ以外にも移住定住施策にも取り組んでいます。

【多羅城プロジェクト】

自治会長を通じて空家物件を掘り出し、住宅課や地域事務所の協力によりHP等で周知していただいています。お子さんがいる家族連れの内覧会参加者もあり、今年度も数件、多良地区で不動産の動きがありました。

多羅城プロジェクトによる交流人口の増加がゆくゆくは定住人口の増につながることを願います。



【多羅城プロジェクト】

島津の退き口について分かりやすく理解できる冊子を作成しました。

上石津地域だけでなく多くの市内の子どもたちにも読んでいただきたいと思います。

【多羅城プロジェクト】

日頃より、西高木家陣屋跡の保存整備などにご尽力いただき感謝いたします。

【多羅城プロジェクト】

多良地区は歴史の宝庫で色々な資料が残っています。来年をピークとせず、今後も取り組むことが多いので、引き続き市のバックアップをお願いします。

【市長】

新たな「光秀コース」をぜひ活用していただきたいですね。

現状は「生誕の地のひとつ」ということですが、その域を超えるネタがあると立体的に組み立てやすくなりますね。

また、ゆかりの地を巡る中で、ただ観光するだけでなく、ぜひ食べて廻るコースをつくっていただけると良いですね。特に、今は健康寿命をのばすことがブームですので、そういった面をからめた取り組みなどが人気ですね。

100 日前イベントについては、本市も協議会に参画させていただき、負担金を支払っていますので、そういった対応はしっかりしていただきたいものですね。

いずれにしても、この地域は歴史の節目になると必ず出てくる地域です。大河ドラマや関ヶ原合戦 420 年に合わせ、この地域を対外的に P R してまいりたいと思います。

